

野遊び・外遊びプログラム実践研究会 実施報告書

タイトル	楽しさの秘訣はボランティアによるファシリテーター
内容 (準備、遊びの展開など)	1班5人にボランティアが1名つく。 季節を楽しむ野外活動を協力しながら取り組む。活動例は以下の通り。 水遊び、追跡ハイキング、ウオークラリー 野外料理、焚火パーティ
用意するもの	テント、かまど、薪、鍋、食材 雪上で遊ぶための、そり、スコップ、バケツ
実施期間	5月～3月
実施回数	月1回 合計11回
参加対象	小学生 下学年1クラブ 上学年1クラス

<事業実施までのプロセス・アピールポイント>

子どもの主体性	子どもたちと創り上げてきたエピソード
子ども5～6名とボランティア1名で活動する。月一回の活動であるが、毎回、班の構成は変更する。子どもたちには活動の目当てを知らせるが、ゴールにたどり着くためには班の話し合いが重要になる。さらに、ボランティアはファシリテーターに徹して、明確な指示は控え、子どもたちで解決する機会を設けるように支援している。 始めは、トラブルが多く発生しているが、回を重ねるごとに、相手を思いやる、協力するなど、集団としての高まりが見えてくる。毎年最終活動日には感動的なお別れの会になる。 この集団を支えるのは、ファシリテーター役のボランティアである。構成は富山大学生、クラブのOBメンバーである。しっかりと課題が解決できるように、ヒントをだして班を導くことが共通理解されている。それが、楽しさを体験する秘訣となっている。	
普及・波及	これさえ押さえておけばどこでもできるポイント
・できる限り指示は控える。考えが深まるようなヒントを出す。 ・トラブルは成功への過程ととらえ、子どもたちの解決力を信じて、気長に待つ。 ・定期的にボランティア講習会を実施する。	

<当日の様子>

子どもの声	・始めはうまく行かないことが多く、がっかりすることが多かった。ともに活動し、相手のことが分かり始めたころから、楽しくなった。来年も参加したい。
職員の声	・子供たちの成長が手に取るようにわかる。このクラブを担当して本当に良かった。このクラブは、本館を代表する事業であり、今後とも、継続していきたいという気持ちになった。

児童館名	富山県こどもみらい館
住所	富山県射水市黒河 太閤山ランド内
TEL	0766-56-9000
児童館ホームページURL	https://kodomo-miraikan.com

7月ウォーターゲーム



OBメンバーによるボランティアが協力しています。小学校教員です。子どものあつかいは任せてください。



班対抗水風船リレーに挑戦です。バランスと取ることが難しいです。落とさないようにがんばれー！



水鉄砲による一斉放水です。チームワークが大切です。どの班が一番早く的を落とすことができるでしょうか。



最後はかき氷づくりに挑戦です。簡単にできると思っていたのですが、意外と難しいです。早く食べたいなあ。

10月公園内追跡ハイキング



公園内の目印を探す追跡ハイキングを楽しんでいます。大学生ボランティアが協力しています。



一般のボランティアの方にも参加いただいています。



公園内には生きものがたくさんいます。
トカゲを捕獲成功！
自然の中には学びが満載です。



班内で一生懸命コースを確認しています。
ゴールは近いぞ。

12月たき火で調理をしよう



たき火は初めての経験です。班内で工夫しながら、火を大きくします。なかなかうまくいきません。自ら解決策を見つけます。



焼きたての焼き芋は何とも言えないほどの美味しさです。何個でも食べても大丈夫です。この甘さは最高です。



クラブのOBがボランティアとして参加しています。子どもたちといっしょに調理の準備に取り組んでいます。



たき火料理の終わりには、マシュマロをあぶって食べました。これもなかなかおいしいです。ご満悦！